街全体が歴史博物館 世界遺産の街 フィラデルフィア
ペンシルベニア州南東部アメリカ独立の象徴の街で文化交流

第30回 日米草の根交流サミット2020

フィラデルフィア大会

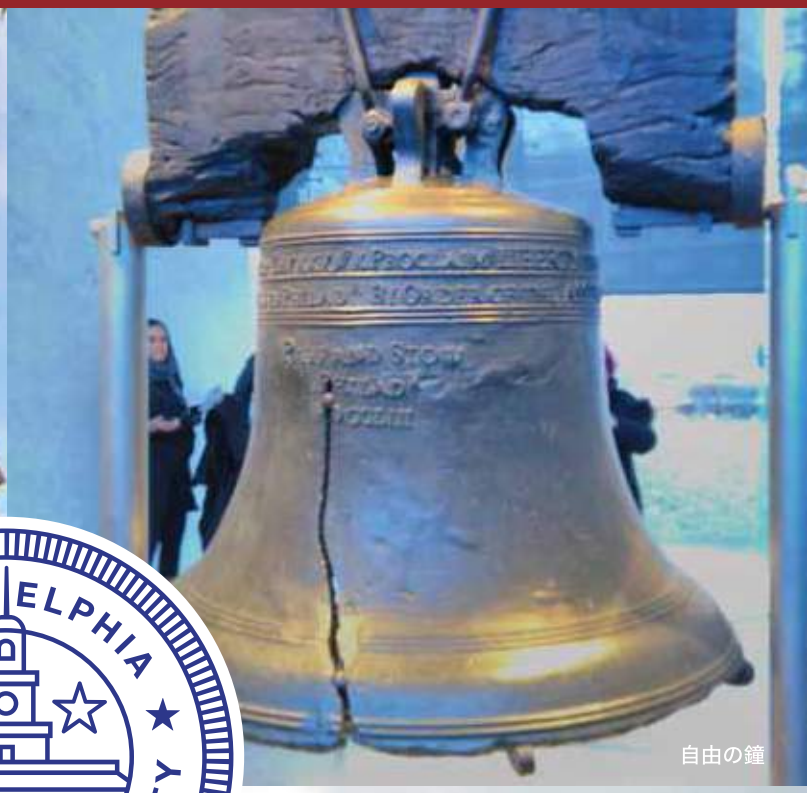
2020.10.6.tue～13.tue 8日間

年齢・職業・語学レベル関係なく参加できます！

ツアー参加者募集

Philadelphia

独立記念館


自由の鐘

PHILADELPHIA WORLD HERITAGE CITY™

イタリアン・マーケット

フィラデルフィア美術館

写真提供：PHLCVB他

主催者からのメッセージ

ペンシルベニア州知事
トム・ウルフ
Tom Wolf

ペンシルベニア州知事として、第30回日米草の根交流サミットのフィラデルフィア及びペンシルベニア州南東部での開催と、日本からの参加者の皆さまを温かく歓迎いたします。
開会式典は、フィラデルフィアで最も有名な18世紀のリーダーの1人であるベンジャミン・フランクリンを称える科学技術博物館であるフランクリン研究所で開催されます。フィラデルフィアとペンシルベニアは、古くから産業開発を通して日米関係を促進する機動力として機能して来ました。サミット大会に参加する皆様は、ペンシルベニア州の家族と共に過ごし、多くの思い出を作られることと信じております。

ペンシルベニア州上院議員
ボブ・ケイシー Jr.
Bob Casey Jr.

第29回兵庫・姫路大会に続き、第30回日米草の根交流サミットがペンシルベニア州で開催され、日本の皆さまが参加されることを心より歓迎いたします。
ペンシルベニア州は米国憲法が制定した2番目の州であり、アメリカ合衆国設立の中心の地でした。多くの方が歴史的名所が数多く残るペンシルベニア州とフィラデルフィアへ訪れ、数ある魅力的な体験をすることを願っています。

フィラデルフィア市長
ジェイムズ・ケニー
James Kenny

フィラデルフィア市長として第30回日米草の根交流サミット大会へ参加される皆様を歓迎いたします。フィラデルフィアは米国で最初の世界遺産都市であり、様々な文化を受入れ、尊重する多様な人々が集まる自由な風土であることを我々市民は誇りにしています。また、私たちは日本との長きにわたる友好関係の歴史に感謝しています。1926年に日本から送られた1600本の桜は、毎年春になると街中に咲き誇り、私たちは日本との美しい友好関係を思い返します。フィラデルフィア市を代表して、日本の皆さんに最も楽んでいただける、素晴らしいサミット大会となるよう、祈念しております。フィラデルフィア「兄弟愛と姉妹愛の都市」でお待ちしています。

フィラデルフィア市会議員
カーティス・ジョーンズ
Curtis Jones

フィラデルフィア市を代表して、第30回日米草の根サミットの開催と参加される日本からの皆さまを歓迎します。フィラデルフィアには、日本とフィラデルフィアの永きに渡る友情を象徴する「松風荘―日本庭園」という宝があります。サミット大会を提供することは大変名誉なことであり、そこから日米市民間のより深い理解と個々の新しい友情が生まれ、確実に根付くことでしょう。開会式典で皆様にお会いできますことを心より楽しみにしております。

日米草の根交流サミット大会って何？

CIEが毎年日本とアメリカで交互に開催している約一週間の交流イベントで、フィラデルフィア大会で30回を数えます。第30回大会は、CIEとフィラデルフィア日米協会とで協力して運営されます。

CIEとは・・・

ジョン万次郎

Friendship

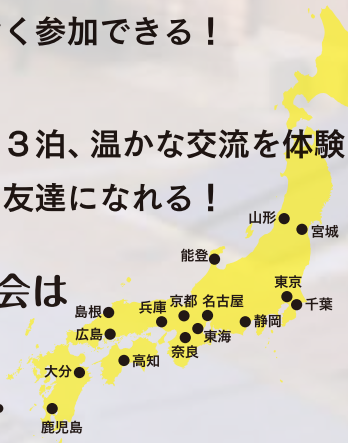
ホイットフィールド船長

公益財団法人 ジョン万次郎ホイットフィールド記念
国際草の根交流センター（CIE）

CIEは、ジョン万次郎と彼を救助し米国で教育の機会を与えたホイットフィールド船長、また彼らの子孫の175年以上継続する友情を原点に、日米の市民が相互理解と親交を深め、友情を育む「草の根交流」を促進しています。

大会4つの特徴

1. 年齢、職業などに関わりなく参加できる！
2. 英語レベルは関係なし！
3. ホテル3泊＋ホームステイ3泊、温かな交流を体験！
4. 日本全国からの参加者とも友達になれる！



過去の草の根サミット開催都市

日米草の根交流サミット大会は
29年つづいており、
参加者・ホストファミリー・
ボランティア等の総数は**40,000人**を超えています。

在ニューヨーク
日本国総領事・大使
山野内 勘二
Yamanouchi Kanji

2020年は、1860年に日本初の対米外交使節団である万延元年遣米使節団がワシントンやフィラデルフィア、ニューヨークなどを訪問して160年を迎えます。この記念すべき年に、第30回日米草の根交流サミット大会がここフィラデルフィアにおいて行われることを大変喜ばしく思います。
独立記念館などの歴史的建造物を有するフィラデルフィアは、米国独立の象徴の地であり、日本から参加される皆様は、まさに建国の歴史を肌で感じることができるでしょう。また、日本の伝統的な建築様式で建てられた松風荘は、日米文化交流の歴史を語ってくれるに違いありません。
日米が、長年交流を積み重ねて構築した信頼関係は貴重な財産であり、この関係を一層強固にすることが大切であります。そして、今日の世界においては、実際に触れ合い、相互理解を促進する草の根交流の役割が一層重要になっております。大会の成功に向けて尽力されている国際草の根交流センター（CIE）とフィラデルフィア日米協会（JASGP）に心から敬意を表します。街全体から歴史や文化を感じ取ることができるフィラデルフィアの地で、この大会を通して皆様が日米間の友情を深め、思い出深い滞在をされることを祈念いたします。

フィラデルフィア日米協会
「ジャパン・フィリー 2020」
委員会代表
ミラー・パーカー
Miller Parker

フィラデルフィア日米協会
「ジャパン・フィリー 2020」
委員会代表
アリスター・ハワード
Alistair Howard

フィラデルフィア日米協会のジャパン・フィリー 2020委員会の共同委員長として、第30回日米草の根サミットがフィラデルフィアで開催されることを大変嬉しく思います。1860年、最初の日本使節団がフィラデルフィアを訪れて以来、1876年の米国独立100周年記念フィラデルフィア万博で北米に最初の日本庭園が設置され、フィラデルフィアと日本は長く深い友情を育んできました。
フィラデルフィアは米国初の世界遺産都市であり、世界中からの訪問者を歓迎しており、この地での日米草の根交流サミット開催は大変魅力的なものになるでしょう。皆様には民主主義の発祥地を訪れ、地元の文化や食べ物を楽しんでいただけます。草の根サミットは日米両国の友好関係の絆を強固にすることでしょう。皆様にここフィラデルフィアでお会いすることを本当に楽しみにしています。

日米草の根交流サミット大会は３つの交流イベントで構成されています

オープニング式典と歓迎レセプション

日本からの参加者、開催地の来賓、ボランティアなど運営に携わる方などが参加。歓迎の挨拶や講演などで構成される式典の後、歓迎レセプションより交流が始まります。

地域分科会

いくつかの地域に分かれて、それぞれ個性あふれる３泊４日の分科会に参加。地元ならではの文化に触れながら、工夫された体験や見学等のプログラムを堪能します。この期間はホームステイですので、ホストファミリーやボランティアとじっくりと草の根交流を深めることができます。分科会の受入れは、ホストファミリーを含めて全て無償のボランティアです。

クロージング式典とフェアウェル・パーティー

ホストファミリーや、全ての関係者が参加する締めくくりのプログラム。サミット大会はここで終了となりますが、参加者相互の本当の交流はここからスタートします。

※希望する方は、大会後もさらに米国内等に滞在し旅行を続けることも可能です。旅行社にご相談ください。

写真提供：CIE　過去大会実施スナップより（イメージ）

City of Love

フィラデルフィア 兄弟愛の街

「フィリー」の愛称で知られるフィラデルフィアは、自由の鐘や独立宣言と憲法が採択された独立記念館など歴史的記念物が点在する、「アメリカ独立革命の地」として世界遺産に登録されたペンシルベニア州最大の都市です。また、全米で最も学生の多い街のひとつです。フィラデルフィアの地名は古代ギリシャ語のフィロス（愛情）とアデルフォス（兄弟）から由来します。1682年にクエーカー教徒のウィリアム・ペン一団がアメリカに渡来し、居住区として建設され発展して来ました。その時代から多様な文化を受け入れてきたフィリー達の兄弟愛精神は、今も根付いています。

ITINERARY

※ 2020年の大幅なダイヤ改正のため現時点での発着時間、発着空港及び米国内乗継空港（デルタ便）が未定です。
新しい情報は随時ホームページに掲載いたしますのでご確認ください。 HP: www.manjiro.or.jp @manjiro.grassroots

サミット大会旅行日程（日程は変更になることがあります）

月日	時間	場所	旅程など
10/6 (火) ［食事］ 機内食 （国際便）	**全日空・日本航空**		
	午後	東京 （羽田または成田）	空路　直行便にてニューヨークへ
	午後	ニューヨーク	JFK空港着 入国後バスでフィラデルフィアの ホテルへ（約3時間／交通状況による）
	夜	フィラデルフィア	ホテル着 ［フィラデルフィア・マリオット・ ダウンタウン泊］
	デルタ航空		
	午後	東京 （羽田または成田）	空路　乗継便で米国へ
	午後	米国内経由地	経由地空港着 入国審査後国内便に乗換 フィラデルフィアへ
	午後	フィラデルフィア	フィラデルフィア空港着 バスでホテルへ ※乗継空港等、新しい情報は 随時ホームページにて更新いたします。 ［フィラデルフィア・マリオット・ ダウンタウン泊］
10/7 (水) ［食事］ 朝食	日中	フィラデルフィア	オプショナル・ローカル・ツアー ※P.5のツアーからお選びいただけます （別料金） バスでオープニング式典会場 「フランクリン科学博物館」へ
	午後		オープニング式典& 歓迎レセプション ［フィラデルフィア・マリオット・ ダウンタウン泊］
10/8 (木) ［食事］ 朝食	午前	フィラデルフィア	バスまたは各キーパーソンの手配で 地域分科会へ出発
	午後	地域分科会	地域分科会 ［ホームステイ］

月日	時間	場所	旅程など
10/9 (金) **10/10 (土)**	終日	地域分科会	地域分科会 （10/10は分科会、 またはホストファミリーとの一日） ［ホームステイ］
10/11 (日)	日中	地域分科会	バスまたはホストファミリーの車にて 地域分科会から インディペンデンス・ シーポート博物館へ
	午後	フィラデルフィア	万次郎ワークショップ クロージング式典& フェアウェル・パーティー ［ヒルトン・フィラデルフィア・アット・ ベンズ・ランディング泊］
10/12 (月) ［食事］ 朝食 機内食 （国際便）	**全日空・日本航空**		
	午前	フィラデルフィア	バスでニューヨークJFKへ （約3時間／交通状況による）
		ニューヨーク	JFK空港から直行便で空路 羽田または成田へ ［機内泊］
	デルタ航空		
	午前	フィラデルフィア	バスでフィラデルフィア空港へ 米国国内便で経由地空港まで
		米国内経由地	乗換後、空路 羽田または成田へ ※乗継空港等、新しい情報は 随時ホームページにて更新いたします。 ［機内泊］
	ポスト・サミット・オプショナル・プログラムに参加される方は、そのプログラムに準じます。		
10/13 (火)	午後	東京 （羽田または成田）	到着後解散

食事について：10/7・10/11の夜は地元のおもてなしによるパーティーにご参加いただきます。
10/8〜11のホームステイ（地域分科会）期間中の食事は、
地域分科会・ホストファミリーのご厚意によります。

午前：5時〜12時　午後：12時〜20時　夜：20時〜

オープニング式典／歓迎レセプション　10/7（水）

at フランクリン科学博物館

政治家、外交官、物理学者、気象学者、発明家であり、アメリカ独立宣言の起草委員の一人でもあったベンジャミン・フランクリン。フィラデルフィアだけでなくアメリカを代表するひとりとして100ドル紙幣に肖像画が使われています。フランクリン科学博物館は彼の科学者としての偉業を紹介するとともに若い世代が楽しみながら科学を学べる施設です。
パルテノン神殿を想わせる豪奢な建物の内部、ワシントンDCのリンカーン像とほぼ同じ大きさで、国立記念碑に指定された大理石のベンジャミン・フランクリン像が座るホールでの式典を準備しています。

クロージング式典／フェアウェル・パーティー　10/11（日）

at インディペンデンス・シーポート博物館

クロージングとフェアウェル・パーティはフィラデルフィアの東、デラウェア川に面するインディペンデンス・シーポート博物館で行われます。シーポート博物館は1960年にフィラデルフィア海事博物館として設立され、デラウェア川沿いの海事の歴史と文化を紹介しています。フィラデルフィアはアメリカ海軍発祥の地であり、幕府へ開港を要求したペリー提督の艦隊が出航した地であることも紹介しています。式典前には「万次郎ワークショップ」をフィラデルフィア日米協会およびシーポート博物館が準備しています。フェアウェル・パーティーではホストファミリーとの最後の時間をゆっくりとお過ごしください。

© Ryan Brandenberg

万次郎ワークショップ

現地ボランティアやホストファミリー含む全てのサミット参加者達に、万次郎とホイットフィールド船長の友好の絆、日本とフィラデルフィアの交流の歴史を紹介するイベント。サミット大会準備中にシーポート博物館コレクションの中から奇跡的に発見された万次郎の三男、慶三郎のフィラデルフィア訪問の記録や、その他日米交流の資料展示や講演などの準備をしています。

10月6日(火)・7日(水)の宿泊ホテル

Philadelphia Marriott Downtown
フィラデルフィア・マリオット・ダウンタウン

フィラデルフィアの中心に位置し、フィラデルフィアの歴史的な景観を保ちながらもスタイリッシュなホテルです。コンベンションセンターや市民の台所と呼ばれるレディング・ターミナル・マーケットに隣接し、中心街の人気スポットがすぐ近くにあり、利便性抜群の立地です。

住所：1201 Market Street Guest Entrance, 1200 Filbert St At, Philadelphia, PA 19107
電話：+1-215-625-2900

10月11日(日)の宿泊ホテル

Hilton Philadelphia at Penn's Landing
ヒルトン・フィラデルフィア・アット・ペンズ・ランディング

英国からの入植者ウィリアム・ペンが最初に上陸した場所として名付けられたデラウェア川岸のペンズ・ランディングにホテルは立地します。閉会式会場となるインディペンデンス・シーポート博物館も隣接し、公園や多国籍レストランがあり、夏には野外コンサート、冬にはアイススケートなどが楽しめる場所として、市民たちに親しまれている地区です。

住所：201 S. Christopher Columbus Blvd., Philadelphia, PA, 19106
電話：+1-215-521-6500

PHILADELPHIA DATA

フィラデルフィアの人口：約160万人

10月の気候
平均最高気温　20℃(東京＝22℃)
平均最低気温　11℃(東京＝15℃)
平均降雨日数　7日（東京8日）

買物にかかる税
フィラデルフィア市内 8%（州税 6%含む）※
※ $100以下の衣料品・靴には消費税なし。

(2019年11月現在)

フィラデルフィア オプショナル・ローカル・ツアー　10/7 (水)

ローゼンバック美術館

フィラデルフィアならではの歴史・芸術・文化に触れる魅力的なツアーが勢揃い！
二日目の午前から午後にかけてフィラデルフィアの中心街および郊外の歴史、芸術や文化に触れていただけるオプショナル・ローカル・ツアーをご用意しました。市内のツアーに含まれるローゼンバック美術館は、土佐藩の画家河田小龍が万次郎たちの漂流の様子を文字と絵に起こした「漂巽紀畧」の最古の写本を所有しています。約180年も前に万次郎達が見た世界を、まだ見たことも聞いたこともない日本の侍絵師がまとめたルポルタージュをご堪能ください。

A インディペンデンス・リバティー・ウォーキング・ツアー＋ローゼンバック美術館

インディペンデンス・モール

オプショナルツアー代金：¥7,500（交通費・入場料）　最少催行人員：15名
※昼食代金は含まれていません。別途、ご案内いたします。
自由の鐘、独立記念館、中心街にそのまま残る歴史的建造物など、専門ガイド・通訳ボランティアたちと共に巡り、フィラデルフィアの歴史と文化に触れてください。

B 美術館（フィラデルフィア美術館またはバーンズコレクション）コース＋ローゼンバック美術館

※昼食代金は含まれていません。別途、ご案内いたします。
フィラデルフィアには街中に美術館や博物館があります。その中でも是非訪れてほしい美術館二つのコースをご用意しました。どちらも素晴らしいコレクションばかりです。

どちらかを選択してください

B-1 フィラデルフィア美術館 入場料込

フィラデルフィア美術館

オプショナルツアー代金：¥8,000（交通費・入場料）
最少催行人員：10名
アメリカ独立100周年の1876年に創設された、全米でも有数の美術館の一つです。古典的なヨーロッパやアメリカのアート作品を中心にヨーロッパやアジアの文化、歴史的な展示が充実しています。また、映画「ロッキー」でシルベスター・スタローンが美術館前の階段を駆け上るシーンが有名です。

B-2 バーンズコレクション 入場料込

バーンズ美術館

オプショナルツアー代金：¥8,800（交通費・入場料）
最少催行人員：10名
世界でも有数の印象派、ポスト印象派の貴重なコレクションを誇る美術館の一つです。
バーンズコレクションとは、アルバート・バーンズのアートコレクション。館内のアート作品の配置などはすべて彼によって決められたというユニークな美術館です。

C アーミッシュカントリー・ツアー

アーミッシュ・ヴィレッジ

オプショナルツアー代金：¥18,800（交通費・入場料・昼食・ガイド付き）　最少催行人員：15名（先着20名）
アーミッシュとは、アメリカ大陸へ移民してきた当時の暮らしをそのまま現代に残している人々。
電化製品や自動車を使わない、ほぼ自給自足の生活をしています。不便なようですが、遠い昔に忘れてきてしまった懐かしい人との繋がりや自然の恵の感謝を思い出させてくれる町です。
専門ガイドによるアーミッシュやクエーカーの歴史や、アーミッシュ文化たっぷりの昼食もお楽しみください。
■ オペレーション：SHOBU INT' L INC

D ニューホープ・ツアー

ニューホープ中心街

オプショナルツアー代金：¥15,000（交通費・入場料）　最少催行人員：15名（先着20名）
※昼食代金は含まれていません。別途、ご案内いたします。
1800年代より避暑地として賑わっていたニューホープ。ダウンタウンには昔ながらのコロニアル調の建物、郊外には高級な別荘が建ち並び、上品で洗練された町です。日本とアメリカの友好の歴史の一つとしてフィラデルフィアで紹介されている、フランク・ロイド・ライトに師事したアントニン＆ノエミ・レーモンドの家とその弟子ジョージ・ナカシマの工房へもご案内します。

E ペンシルベニア大学キャンパス＆考古学人類学博物館ツアー＋ローゼンバック美術館

ペンシルベニア大学キャンパス

オプショナルツアー代金：¥8,500（交通費・入場料・カフェテリアでの昼食）　最少催行人員：15名
ベンジャミン・フランクリンが創立者の一人で、全米で初めてUniversityと呼ばれた総合大学。アイビーリーグ大学の一つとして有名で、殊にウォートン・ビジネススクールは全米でも最古のビジネススクールでもあり、そのランクもハーバード大と同位を誇ります。キャンパス内にある博物館の豊富なコレクションと施設も一見の価値ありです。

F ローゼンバック美術館 & フリー

リッテン・ハウス広場

オプショナルツアー代金：¥2,500（片道交通費・入場料）
※昼食及び復路バス代金は含まれていません。
万次郎の漂流記録とローゼンバックコレクションをゆっくりと見学した後は、自由に気ままにフィラデルフィアダウンタウンを散策して見てはいかがでしょうか。ローゼンバック美術館から宿泊ホテルまでは徒歩で約30分。冒険気分を味わいながら散策をお楽しみください。

地域分科会

10/8 (木)・9 (金)・10 (土)

コミュニティーや家族単位で心温まる交流を！

分科会プログラムでは、ホームステイをしながら、地元の人だけが知る地域の文化や歴史に触れることができます。どのプログラムもその地域ならではの工夫に満ちています。また、ホストファミリーや地域ボランティアとのコミュニケーション(言葉だけとは限りません)は、異なる国の人々のメンタリティを理解し、自らの文化を再発見するきっかけになります。
(※ホストファミリーはすべて無償のボランティアです)

※ ホームステイは１家族につき１名を基本としますが、受け入れ家庭の事情によりその限りではありません。
また、親子やご夫婦での参加など、一緒に滞在を希望される場合は申込書よりお申し出ください。

● キーパーソンは、それぞれの地域でプログラムをコーディネートするボランティアです。

1 ソサエティ・ヒル Society Hill

フィラデルフィア市内にある「ソサエティ・ヒル」と呼ばれる地域には、アメリカの歴史の中でも最も貴重な史跡が数多く保存されています。アメリカ独立宣言と憲法が採択された独立記念館、自由の鐘、アメリカの最初の銀行、病院、郵便局、そして植民地時代に設立された多くのキリスト教会、ベンジャミン・フランクリン博物館等などが近接しており、歩きながらアメリカの歴史を実感できます。

ヒルフィジックハウス

フィラデルフィア市街

Key Person / キーパーソン

Kazumi Teune
カズミ・チューニ

東京出身。フィラデルフィア市内にあるベンジャミン・フランクリンが設立したとされる、ペンシルベニア大学で教鞭をとっていたアメリカ人と結婚。1982年より市内に在住。フィラデルフィア日米協会の専務理事として16年勤め、現在は理事として様々な分野にわたり日本との交流のお手伝いをしています。

2 オールド・シティ Old City

植民地時代をそのまま保存した史跡が数多く残る街をお楽しみください。アメリカの国旗を創作したベッツィ・ロスの家、ベンジャミン・フランクリン博物館、クエーカー教会、アメリカ最初のイギリス国教会などは特に人気の観光スポットです。18世紀に建てられた集合住宅も残り、趣のある住宅に修復されています。またサウス・セカンド通りは、ギャラリー、ブティック、ファッショナブルなレストランやバーなどがあり、様々なライフスタイルを楽しむことができます。

インディペンデンス・モール

エルフレス小径

Key Person / キーパーソン

Mariko T. Schon
ショーン・麻里子

ショーン麻里子と申します。アメリカにはすでに25年在住しております。フィラデルフィアでは法律事務所で事務を務めております。歴史にあふれたフィラデルフィアの街をみなさまと楽しめる機会を持ててうれしく思います。楽しみにお待ちしております！

3 フェアマウント Fairmount

フェアマウントはフィラデルフィアでも、フィラデルフィア公立図書館や、東州立刑務所、フィラデルフィア美術館などが立地する、よく知られる地域です。またこの地区はグルメな地区でも知られ、おしゃれなカフェやレストランが並びます。

ロダン美術館

東州立刑務所

Key Person / キーパーソン

Ryan Acuna
ライアン・アクナ

フィラデルフィア郊外で生まれ育ち、フィラデルフィアの良さを知り尽くしています。テンプル大学を2016年に卒業しました。以来、フィラデルフィアの素晴らしさ、豊かな文化や歴史を探求し、広めたいと思っています。

4 ユニバーシティ・シティ University City

フィラデルフィア西部に広がるこの大学タウンには、全米で一番古い大学のひとつであり、考古学博物館、世界クラスの病院および研究施設を持つペンシルベニア大学、そこに隣接するドレクセル大学が並びます。大学タウンらしく、伝統的な雰囲気の中にも、若々しい革新と芸術や文化の探求が感じられる町です。国際色豊かなレストランや屋台が点在し、エネルギッシュな気分を味わえます。

ペンシルベニア大学校内

Key Person / キーパーソン

Frank L. Chance
フランク L. チャンス

元ペンシルベニア大学東アジア研究教授・副学部長。退職後、四国八十八箇所巡礼研究に関わり、2016年に徒歩で完了。その後、四国巡礼に関する講演や執筆、韓国美術史や江戸後期の折衷的な画家谷文晁の伝記論文の執筆に取り組んでいます。また、高校での日本研究普及のための教師育成にも努めています。

5 南フィラデルフィア South Philadelphia

サウスフィリーの愛称を持つ南フィラデルフィア地区は、イタリア系アメリカ人が多いことで知られていますが、現在ではアジア系を含む多様な人種で賑わう町に変貌しています。イタリアン・マーケットは食の宝庫で、多国籍のレストランが並びます。映画「ロッキー」の背景にもなり、ロッキーが駆け抜けるシーンでも有名です。

シチズンズバンクパーク

マジックガーデン

Key Person / キーパーソン

Mackenzie Warren
マッケンジー・ウォーレン

生まれも育ちもフィラデルフィア。市内の歴史的な場所で勤務し、博物館巡りが大好きです。現在大学院で歴史を勉強しており、子どもたちへ歴史の関心を高めたいと思っています。海外に2度暮らしたことがあり、人々との異文化交流が大好きです。着物収集やアニメ、猫と映画鑑賞、手芸やお菓子作りなどを楽しんでいます。

6 グレンサイド Glenside

グレンサイドはフィラデルフィアのベッドタウンともいえ、フィラデルフィア中心街まで電車で30分の距離です。歴史的な建物や自然にも恵まれ、なかでもケズウィックビレッジやグレイ・タワー城、自然豊かなトレイルや公園で知られています。歴史的なケズウィック・ビレッジは文化・商業の中心地であり、アルカディア大学キャンパス内にあるグレイ・タワー城は1893年に建てられた歴史的建造物です。

ケズウィックシアター

サンライズアーチ

Key Person / キーパーソン

Alistair Q. Howard
アリスター・ハワード

現テンプル大学国際学部副学長。2015年より3年、リベラルアーツ教育で知られるテンプル大学東京キャンパスの校長に赴任。日本の政治経済、木工にとても関心を持っています。イギリス生まれ。オクスフォード大学卒業後、東京電力アメリカ支店に勤務。現在はフィラデルフィア郊外で妻とペットたちと暮らし、余暇は築100年の家の改築や食器棚作りを楽しんでいます。

随時更新！ ※地域文化会の更新情報はHP及びFacebookページでご確認いただけます。 HP: www.manjiro.or.jp @manjiro.grassroots

7 チェスナット・ヒル Chestnut Hill

緑豊かな通りに沿いに並ぶ風格のある歴史的な邸宅と、ビクトリア朝のタウンハウスが特徴の住宅地チェスナット・ヒルは、ガーデン地区として知られ、日本にゆかりのあるモリス樹木園も近くにあります。アーケード街では、毎年10月にハリーポッターフェスティバルが開催され、ハリーポッターファンと魔法使いに扮した人々で賑わいます。また、ジャーマンタウン街には素敵なブティック、ギャラリー、アンティーク専門店、レストランが並んでいます。

エルボート

チェスナット・ヒルでショッピング

Key Person / キーパーソン

Paul Reagan
ポール・レーガン

ペンシルベニア大学で国際関係と外交史を学んだ後、慶應義塾大学で大学院を卒業しました。また、ケンブリッジ大学の博士号も取得しました。これまで20年間、フィラデルフィアと日本の大学で、近代アジア史、国際関係、日本文学や日本映画の分野で教鞭を執って来ました。

8 ウェスト・チェスター West Chester

ウェスト・チェスターは、フィラデルフィア中心街から西へ40キロ、デラウエア州の境界線に位置する緑豊かで歴史的な街です。世界中の人々が訪れる米国最大の植物園ロングウッドガーデンや、歴史博物館、米国で2番目に大きいショッピングモールのキング・オブ・プラッシャなどに近接しています。又、学園都市である市内は、各種レストラン、コンサートホール、古本屋等を散策する学生で賑わっています。

秋の西チェスター

旧栄光の像と裁判所の正面

Key Person / キーパーソン

Masako Kuragano
マサコ・クラガノ［倉賀野 昌子］

横浜市出身。20代後半にニューヨークの教職を得て渡米以来、米国各地や香港の大手日系関連企業での職を経験してきました。3人の子供達が巣立った現在、ウエスト・チェスターで、フィラデルフィア出身の主人と三毛猫のトッシュと暮らしています。趣味は旅行、食べ歩き、料理、ヨガやゴルフ。世界の文化や生活を学べる米国生活を楽しんでいます。

9 ランカスター Lancaster

ランカスターは、フィラデルフィアから西へ約100キロに位置し、小さいながらもとても興味深い町です。ダイナミックで歴史的なダウンタウンには、美しい建物、素敵なレストランやアートギャラリーがあります。また、広大な農地とアーミッシュたちが暮らす美しい田園風景が自慢です。季節を問わず、ランカスターはいつも世界中からの訪問者と観光客を魅了しています。

ランカスターの風景

ギャラリー ROW

Key Person / キーパーソン

Amy Sahm
エイミー・サーム

地元ランカスター出身。大阪に5年住み、日本企業や現在の国際銀行勤務を併せ30年も国際貿易に携わっています。家族と共にランカスターに暮らし、定期的に関西を訪れ、文化交流を楽しんでいます。日本語も話し、趣味は家族や友達との旅行、読書、ハイキング、料理。新しい友情と交流を楽しみにしています。

10 リーハイ・バレー Lehigh Valley

リーハイ・バレー地区は丘と自然豊かな田園に囲まれ、ベツレヘムやイーストンなど多数の小さな町や市で構成され、その風景、公園、トレール、水路などはまるで絵画のようです。植民地時代より経済的に発展を遂げているこの地域は、現在でもペンシルベニア州第3位の経済都市圏でもあり、クレヨンやクラフトビール、マーティンギター、博物館、屋根付き橋など、リーハイ・バレーの生活は飽きることがありません。

リーハイ・バレーの風景

街の風景

Key Person / キーパーソン

Miki Sankary
ミキ・サンケリー

ベツレヘムのリーハイ大学に勤務しており、米日カウンシルの代表も務めています。カリフォルニア州出身で、日本へはよく家族に会いに行きます。アメリカでも日本の文化をお祝いして楽しんでいます。日本人や日系人、地域の人々が交流するリーハイ・バレーJAJAJAを組織し、運営しています。日本食の料理にも挑戦しています。

写真提供：PHLCVB他　写真は季節や天候によってイメージが異なる場合がございます。

11 メインライン Main Line

フィラデルフィアから電車で20分から30分ほどの郊外にある地域。ペンシルベニア鉄道のメインライン（本線）に沿って広がった町という通称です。
このエリアには名門で知られるブリンマー大学、ビラノバ大学、ハファフォード大学が立地し、住宅街の中に歴史的な建物のキャンパスが広がっています。

Key Person / キーパーソン

Masako Hamada
浜田昌子

ビラノバ大学、国際学部・日本学科で日本研究を専門に30年、教鞭を執る傍ら、アメリカで日本文化の普及を始め日米交流に貢献してきております。
最近では出版予定の「陽明丸：日米露連携の人道の箱船」の翻訳者の一人として携わりました。
趣味は旅行、グルメ歩き、週末はリッラクスしたひと時を過ごしています。大学の町、メインラインで皆さまと交流ができるのをとても楽しみにお待ちしております。

写真提供：PHLCVB他　写真は季節や天候によってイメージが異なる場合がございます。

サミット後にもっとアメリカの文化を知るプログラム！

フィラデルフィア大会終了後、４つのポスト・サミット・オプショナル・プログラムをご用意しました。※ホストファミリーは無償のボランティアです。

OP.1 万次郎の足跡残る フェアヘイブンホームステイと 古都ボストン

10/12(月)～16(金)　￥78,000 大人子ども同額

全行程JALを利用の方限定

含まれるもの：交通費、ホテル宿泊費
定員10名　最少催行人員6名

ホイットフィールド船長の家

1841年太平洋の孤島でホイットフィールド船長に救助されたジョン万次郎が船長について到着した町、フェアヘイブン。船長の家、万次郎が通った小学校、教会など「万次郎トレイル」として、彼の足跡は大切に保存されています。二人の友情が今も根付いているこの町でホームステイを体験、最後の夜は古都ボストンでお過ごしください。
協力：万次郎・ホイットフィールド・フレンドシップ協会、日本協会ボストン

10/12(月)	午前 空路　ボストンへ 高速バスでフェアヘイブンへ 午後 ホストファミリーと対面	（ホームステイ泊）
10/13(火)	終日 万次郎トレイル フェアヘイブン市内観光	（ホームステイ泊）
10/14(水)	午前 高速バスでボストンへ 午後 ボストン観光	（ボストン市内ホテル泊）
10/15(木)	午前 空路 直行便にて帰国の途へ	（機内泊）
10/16(金)	午後 東京（羽田または成田）到着	

※ホテルを１名１室で利用する場合24,000円の追加となります。

OP.2 ワシントンDC半日ツアーと ヴァージニア・ホームステイ（2泊）

10/12(月)～15(木)　￥108,000 大人子ども同額

全行程ANAを利用の方限定

含まれるもの：交通費、DCのガイド
定員10名　最少催行人員6名

ワシントンDC

アメリカの首都・ワシントンDCへはフィラデルフィアから車で約４時間。アメリカの行政の中枢をガイドと共に観光後、「カントリーロード」で有名なウェストバージニア／バージニア州での２泊のホームステイを通して交流をお楽しみください。日本でのサミット大会に参加された方が中心にプログラムの準備をしています。

10/12(月)	午前 陸路　バスにてワシントンDCへ 到着後　市内観光 午後 Pembloke Retreat Innへ ホストファミリーと面会 それぞれホストファミリー宅へ	（ホームステイ泊）
10/13(火)	ホストファミリーと過ごす1日	（ホームステイ泊）
10/14(水)	午前 ホストファミリーとワシントン・ダレス空港へ 空路 直行便にて帰国の途へ	（機内泊）
10/15(木)	午後 東京（羽田または成田）到着	

ESTA（電子渡航認証）の申請はお早めに

ビザ免除プログラム（VWP）を利用して渡米される方は、米国に出発する72時間前までにESTAを申請してください。申請後の即時承認は利用できなくなり、承認を待たずに米国の空港に到着すると、入国が拒否される可能性があります。（米国国土安全保障省より）

米国のESTA（エスタ）と査証（ビザ）

一定の条件を満たしている方は事前に米国政府の電子渡航認証（ESTA）を取得することで、無査証（ビザ無し）で米国に入国できます。ESTAは、登録料金14ドル（2019年11月現在）をクレジットカードで決済することで、ご自身でホームページから取得することができます。**米国政府の公式HP（https://esta.cbp.dhs.gov/esta/）の右上にあるボタン「change language（言語変更）」から「日本語」を選び、「新規申請」より手順に従い、お済ませください。**
もし、ESTAを取得できなかった場合は、米国査証（ビザ）の申請が必要です。査証取得には１ヶ月以上要することがあります。ご出発までに査証が取得できない場合、旅行契約を解除することとなり、その場合の取消料は参加者負担となります。ESTAの取得は、近畿日本ツーリストに有料で依頼することも可能です。この場合は、14ドルの日本円相当を含めて、¥6,000の手続き代行料金となります。

※ESTAは取得後２年間有効です。以前ESTAを取得したことがあり、この旅行がその有効期間内である場合、またその間に旅券を更新・変更していない場合には、新たにESTAを取得する必要はありません。

時間帯目安 午前：5時～12時 午後：12時～20時 夜：20時～

OP.3 ミシシッピー川の源流 ミネソタ州でホームステイ（2泊）

10/12(月)～15(木) ￥42,000 大人子ども同額

全行程デルタ航空を利用の方限定

ミネアポリス

含まれるもの：交通費
定員10名　最少催行人員6名

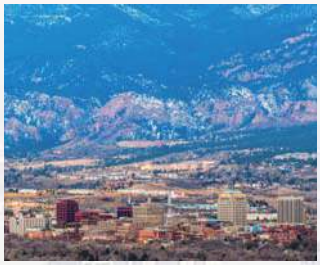
1万個の湖があるというミネソタ州の最大都市ミネアポリスと州都のセントポールは隣りあっていることからツイン・シティーと呼ばれています。米国最大級のショッピングモールや個性豊かな美術館、スポーツやコンサートなどのエンターテイメントも充実した街で、2泊のホームステイを通して交流をお楽しみください。
協力：ミネソタ日米協会

10/12(月)	午前 空路　ミネアポリス・セントポール空港へ 到着後　市内観光・ホストファミリーと面会 それぞれホストファミリー宅へ	（ホームステイ泊）
10/13(火)	ホストファミリーと過ごす1日	（ホームステイ泊）
10/14(水)	午前 ホストファミリーとミネアポリス・セントポール空港へ 空路 直行便にて帰国の途へ	（機内泊）
10/15(木)	午後 東京（羽田または成田）到着	

OP.4 大自然に囲まれた コロラド州コロラドスプリングス ホームステイ（2泊）

10/12(月)～15(木) ￥85,000 大人子ども同額

全行程 ANA または JAL を利用の方限定（未定）


コロラドスプリングス

含まれるもの：交通費
定員10名　最少催行人員6名

コロラド州デンバーの南、ロッキー山脈の標高4000メートル級の一つであるパイクスピーク山が見下ろす都市コロラドスプリングス。日米草の根交流サミットを2度も行った土地でもあり、サミットサポーターたちが多く暮らす街での2泊のホームステイを通して交流をお楽しみください。
協力：南コロラド日米協会

10/12(月)	午前 空路　乗継便にてコロラドスプリングス空港へ 到着後　ホストファミリーと面会 それぞれホストファミリー宅へ	（ホームステイ泊）
10/13(火)	ホストファミリーと過ごす1日	（ホームステイ泊）
10/14(水)	午前 ホストファミリーとコロラドスプリングス空港へ 空路 米国内乗継便にて帰国の途へ	（機内泊）
10/15(木)	午後 東京（羽田または成田）到着	

第28回 日米草の根交流サミット2018 シアトル・ワシントン州大会の参加者の感想

品川 千恵美さん

シアトルから車でフェリーも使って約2時間、7Cedars Resort and Casinoの前でホストファミリーや地域の人達が私達7名を出迎えてくれました。この3日間は、手作りピザでのウェルカムパーティーに始まり、バードウォッチングや町の散策、映画祭への参加、最後のポットラックパーティーまで、いろいろな計画が立てられていました。その中に、ホストファミリーとの時間もたっぷりあって、ゆっくりお喋りしたり、ブラックベリーを取りに行ったり、“土曜市場”でポットラックの材料を買って料理を手伝ったりして、RobさんとKarenさんの心温まる、心地良い“おもてなし”を受けました。

最初はぎこちなかったハグも、帰りは別れを惜しむ強いハグに変わっていました。ありがとうございました。

森本 吉胤（よしつぐ）さん

2017年3月、町の広報誌で「ホームステイ受入家庭募集」を知り、当時次男が海外でホストママに大変お世話になっていたことから、恩返しの気分で申し込みました。奈良大会の分科会で初めて対面した男性は、いかにもアメリカ人らしい体格の堂々とした紳士でした。わが家に滞在中、私のつたない英語を一生懸命聞いてくださり、私も家族も友人も本当に楽しい時間を過ごしたのでした。なんとその方はホイットフィールド船長の6代目子孫、スコットさんでした。当然のこと、翌年のワシントン大会に参加しました。再会しハグしあったのは当然、オープニングの時にはご家族を紹介していただきました。

そして本来の目的であるレイクウッドの分科会へ。私のホストファミリーはジョンさん、ケイコさんという高齢のご夫妻でした。奥様は日本からアメリカへ嫁がれた方で、当初心配していた言葉の問題は全く関係なく、快適な滞在でした。また、同じ分科会の仲間たちともたいへん仲良くなり、お互い冗談を言い合いながら夢のような時間を過ごしました。ホストファミリーの皆さんはどなたも親切にしてくださり「ぜひ再会しましょう」と話しました。帰国後もメールでやりとりしています。私もそろそろリタイヤの歳ですが、この期に人生最高の体験ができたように思います。

旅行代金（基本プラン）

利用航空会社	発着地	早期申込割引代金 4/30まで	通常参加代金 5/1から
全日空	ニューヨーク発着便（直行）	¥298,000	¥310,000
日本航空	ニューヨーク発着便（直行）	¥298,000	¥310,000
デルタ航空	フィラデルフィア発着便（米国内経由）	¥289,000	¥301,000

●上記の他に、燃油サーチャージ（21,000円）・航空保険料（全日空200円、日本航空600円）・国内空港税（羽田2,610円、成田2,660円）・国際観光税（1,000円）・海外空港諸税（7,630円）が別途必要です。※2019年11月現在のため変動がある場合がございます。金額は2020年8月以降の発表予定です。

●上記は、成田または羽田空港発着、ホテルは2名以上で1室利用の場合です。

●オプショナル・ローカル・ツアーや、ポスト・サミット・オプショナル・プログラムは別料金となります。

○ **最少催行人員 80名（各航空会社選択プランの合計）**

○ **募集人員 150名（申込先着順により締め切ります）**

○ **一人部屋利用追加料金 ¥48,000（3泊分／ホテル部分のみ）**

○ **出発・到着地**

上記参加料金は、成田または羽田空港発着です。成田／羽田までの日本国内移動・前泊・後泊は別途料金が必要です。詳しくは近畿日本ツーリストにお問い合わせください。

○ **ビジネスクラス往復追加料金**

国際線のビジネスクラスご希望の方は追加料金にて手配可能です。追加料金は50万円前後となる見込みです。詳しくは近畿日本ツーリストにお問い合わせください。

○ **添乗員は同行しませんが、現地空港より現地係員が対応します。**

学生 小児等の旅行代金

子ども・学生割引

¥12,000 引き

出発日の満年齢が2歳以上の子ども、小中高生および25歳までの学生は、お一人につき左記の金額を割引します。（早期申込割引との併用可能）

幼児の旅行代金

出発日の満年齢が2歳未満で飛行機の座席を使用せず、ホテルでは大人と添い寝する場合は、料金代金は¥35,000となります。（各航空会社利用プラン共通）

キッズ添い寝プラン

子どもと同一ベッドで添い寝することによって運用されるのが「キッズ添い寝プラン」です。下記の場合に限り、基本旅行代金からそれぞれの金額をお引きします。（サミット大会中のホテルの宿泊は3泊です。「子ども・学生割引」との併用はできません）

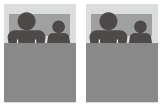
部屋利用Aタイプ

合計3名

子ども1名分について、3泊合計で

¥30,000 引き

部屋利用Bタイプ



合計4名

子ども2名分について、3泊合計で

¥50,000 引き

キャンセル・変更

旅行開始日の前日から起算してさかのぼって30日目から3日目までの取消	旅行代金の 20%
旅行開始日の前々日以降旅行開始までの取消	旅行代金の 50%
旅行開始後の取消または無連絡不参加の場合	旅行代金の 全額

※詳しくは募集要項・ご旅行条件書をご参照ください。

海外旅行傷害保険に必ずご加入ください

万が一現地でケガや病気になった場合や、ホテルの高価な調度品を壊してしまった場合等、海外旅行傷害保険に入っていれば日本語で24時間対応してくれます。
ご自身で入られても、近畿日本ツーリストに申し込まれてもOKです。必ず出発前までにご加入ください。
（クレジットカードに付加されている海外旅行傷害保険では携行品損害の対応がない等、不十分です。くれぐれもご注意ください）

注意事項 必ずご確認ください！

1. 旅券（パスポート）
参加者は、帰国時まで有効な旅券を持っていることが必要です。（ただし、入国時90日以上が望ましい）現在お持ちの旅券が今回の旅行に有効かどうかの確認、旅券申請等は参加者各自の責任で行ってください。
2. 米国では、ホテルやレストラン等多くの人が集まる場所は、ほとんどが禁煙です。（航空機内は全てが禁煙）
3. ホームステイ等の関係から、健康状態に不安のある方や集団行動が難しい方については、参加をお断りする場合があります。あらかじめご了解ください。

お申込み方法

1 別紙の「旅行申込書」の表と裏の両方に全て記入し、パスポートのコピー（顔写真の頁）とともに、近畿日本ツーリストへFAXもしくはご郵送ください。FAXの場合、必ず表と裏の両面を送信してください。または、e-mailに記入済みの申込書（表と裏）とパスポートコピーを添付してphiladelphia-summit2020@or.knt.co.jpまで送信してください。

2 旅行申込書を受領後、申込金**¥50,000**の請求書が近畿日本ツーリストより発行されます。残金は後日、旅行出発の約1ヶ月前に請求されます。請求書記載の期日までにお振込みください。

申込締切日

2020年7月31日必着、または募集人員に達した時

※7月31日以降のお申込みについては、お問い合わせください。

ご不明な点があれば、お気軽に近畿日本ツーリストにお問い合わせください。

お問い合せ・お申し込み

旅行の申込、キャンセル、旅程関連、割引料金、海外旅行保険等に関するお問い合わせ

株式会社近畿日本ツーリストコーポレートビジネス トラベルセービスセンター東日本
日米草の根交流サミット係 観光庁長官登録旅行業 1944 号
一般社団法人日本旅行業協会正会員　ボンド保証会員　旅行業公正取引協議会会員
〒160-0023 東京都新宿区西新宿8-14-24　西新宿KFビル3F
TEL：03-6730-3220 ／ FAX：03-6730-3229 ／ e-mail：philadelphia-summit2020@or.knt.co.jp
営業日・営業時間：月～金 10:00 ～17:00 ※土日祝日休み（12/29～1/3も休業となります）
お取消・ご変更のご連絡が休業日・営業時間外の場合は、翌営業日の扱いとなりますので、予めご了承ください。

● 総合旅行業務取扱管理者：黒田 和幸・小室 智恵子
● 総合旅行業務取扱管理者とは、お客様の旅行を取り扱う営業所での取引に関する責任者です。このご旅行の契約に関し、担当者からの説明にご不明な点がございましたらご遠慮なく旅行業務取扱管理者にご質問ください

旅行企画・実施：株式会社近畿日本ツーリスト首都圏 横浜支店
観光庁長官登録旅行業 2053 号　一般社団法人日本旅行業協会正会員
ボンド保証会員　旅行業公正取引協議会会員
〒221-0052 横浜市神奈川区栄町 3-4　パシフィックマークス横浜イースト 4 階

大会企画・運営

日米草の根交流サミット大会企画 ＆
サミット大会のプログラム内容に関するお問合せ

公益財団法人 ジョン万次郎ホイットフィールド記念
国際草の根交流センター（CIE）
TEL：03-3511-7171
FAX：03-3511-7175
E-mail:manjiro@manjiro.or.jp
http://www.manjiro.or.jp
@manjiro.grassroots

0440-1911-0002